

1. 製品及び会社概要

- 1.1 製品名**
ハイボンド ジンクセメント 液
- 1.2 会社名**
株式会社 松風
- 1.3 住所**
京都市東山区福稲上高松町 1 1
- 1.4 担当部門**
技術部品質保証課
- 1.5 担当者**
品質保証課長
- 1.6 電話番号**
075-561-1112
- 1.7 FAX 番号**
075-561-2272

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外

人健康有害性

急性毒性（経口）	区分 4
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 1A
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 2（全身）
	区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 2（肺）

環境有害性

水性環境急性有毒性	区分 2
水性環境慢性有毒性	区分 2

記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語 危険
危険有害情報 飲み込むと有害（経口）

注意書き

重篤な薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 気道への刺激のおそれ
 臓器の障害（全身）
 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（肺）
 水生生物に毒性あり
 長期的影響により水生生物に毒性あり
 [安全対策]

添付文書を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 容器を密閉しておくこと。
 環境への放出は避けること。

[応急措置]

眼に入った場合、直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合、新鮮な空気のところまで体を毛布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合、清浄な水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の診察を受けること。

[保管]

密閉して、室内冷暗所に保管すること。

[廃棄]

内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別

混合物

3.2 成分及び含有量

りん酸 ≒ 60%

水酸化アルミ

酸化亜鉛

水

3.3 官報公示整理番号（化審法）

1-422、1-17、1-561

3.4 CAS No.

7664-38-2、21645-51-2、1314-13-2、7732-18-5

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

4.2 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗浄すること。刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。

4.3 吸入した場合

新鮮な空気のところを毛布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

4.4 飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を洗浄する。気分が悪い場合は医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂

5.2 特定の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は適切な消火剤等を用いて風上から行う。

5.3 消火を行う者の保護（保護具等）

必要に応じて呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用する。

6.2 環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。

6.3 除去方法

おがくず、ウェス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

6.4 二次災害の防止

着火源を取り除くと共に換気を行う。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 取り扱い

皮膚、目との接触、蒸気の吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。

7.2 保管

直射日光や高温になるところは避けて、通気の良い屋内で密封保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 設備対策

局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等

8.2 環境濃度

設定されていない。

8.3 許容濃度

りん酸	日本産業衛生学会（2014年版） ACGIH（2014年版）	1 mg/m ³ TLV-TWA 1 mg/m ³ TLV-STEL 3 mg/m ³
酸化亜鉛	日本産業衛生学会（2015年版） ACGIH（2013年版）	第二種粉じん 吸入性粉じん 1 mg/m ³ LTV-TWA 2 mg/m ³ （吸入性粒子） TLV-STEL 10 g/m ³ （吸入性粒子）

8.4 保護具
 保護マスク、保護手袋、保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

9.1 外観等	無色透明又は淡黄色透明な粘性のある液体
9.2 臭い	なし
9.3 pH	データなし
9.4 融点・凝固点	データなし
9.5 沸点、初留点および沸騰範囲	データなし
9.6 引火点	データなし
9.7 燃焼または爆発範囲の上限・下限	データなし
9.8 蒸気圧	データなし
9.9 比重又は嵩比重	データなし
9.10 溶解度	可溶
9.11 η-オクタノール/水分配係数	データなし
9.12 自然発火温度	データなし
9.13 分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

- 10.1 安定性**
 通常条件では安定。
- 10.2 反応性**
 アゾ化合物、エポキシドの影響下で激しく重合する。
 多くの金属を侵して引火性/爆発性気体（水素）を生じる。
 燃焼の際には、りん酸化物などが生成される。

11. 有害情報

11.1 急性毒性	飲み込むと有害（経口） りん酸： 経口 ラット LD50 1250 mg/kg 経皮 ウサギ LD50 2740 mg/kg 酸化亜鉛： 経口 ラット LD50 > 5000 mg/kg 吸入（粉塵・ミスト） ラット LD50 > 5.7 mg/L
11.2 皮膚腐食性・刺激性	重篤な薬傷・眼の損傷
11.3 眼に対する重篤な損傷・刺激性	重篤な眼の損傷
11.4 呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし
11.5 生殖細胞変異原性	データなし
11.6 発がん性	データなし
11.7 生殖毒性	データなし
11.8 特定標的臓器毒性（単回ばく露）	臓器の障害（全身） 気道刺激のおそれ
11.9 特性標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	長期または反復暴露による臓器の障害（肺）
11.10 吸引性呼吸器有害性	データなし



12. 環境影響性

- | | |
|----------|-------|
| 12.1 分解性 | データなし |
| 12.2 蓄積性 | データなし |
| 12.3 魚毒性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

- 14.1 注意事項
火気厳禁で取り扱うこと。
- 14.2 国連番号・国連分類
非該当

15. 適用法令

- 15.1 消防法
該当しない。
- 15.2 労働安全衛生法
りん酸として
名称を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）（政令番号 第618号）
酸化亜鉛として
名称を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）（政令番号 第188号）
- 15.3 化学物質管理促進法
対象物質無し。
- 15.4 航空法
りん酸として
腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*）本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。